

第73回 関西イラン研究会

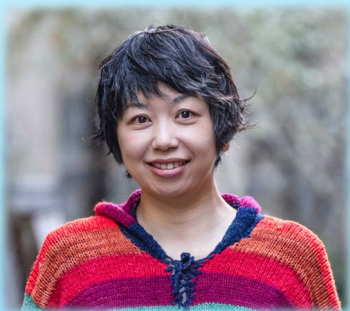
「イランとの出会いから

～人びと、暮らし、ことば～」

中東・西アジアの大国イラン。日頃の国際ニュースからは、その国に生きる人々の素顔や日常の暮らしはなかなか見えてきませんが、イランには古くから豊かな歴史と伝統文化があり、他の地域と同じく、生き生きとした人びとの暮らしの営みがあります。

関西イラン研究会は、大阪大学ペルシア語専攻で開催している研究会で、定期的にメンバーやゲストによる研究発表、調査報告、研究情報の提供などを行っています。

今回は、『テヘランのすてきな女』の著者で文筆家・イラストレーターの金井真紀さん、編集者の竹田純さん、美術史研究者のザハラ・モハッラミプールさんをゲストにお招きして、それぞれのイランとの出会い、またイランと日本の文化比較など、イラン文化の面白さや魅力についてお話しいたします。関心をお持ちの方にはどなたにも開かれた研究会ですので、イランについての話を聞くのは初めて、という方も、どうぞご遠慮なくいらしてください。



金井真紀(かない・まき)

文筆家・イラストレーター。著書に『パリのすてきなおじさん』(柏書房)、『日本に住んでる世界のひと』(大和書房)、『テヘランのすてきな女』(晶文社)、『春をよろこぶ みんなで踊る 世界で暮らすクルドの人たち』(福音館書店)など。難民・移民フェス実行委員。



竹田純(たけだ・じゅん)

2012年、大阪大学外国語学部ペルシア語専攻卒業。柏書房編集部で書籍編集に携わる。担当書に金井真紀『テヘランのすてきな女』(2024年)、イリナ・グリゴレ『みえないもの』(2025年)、坂本泰紀『アニータの夫』(2026年)など。



ザハラ・モハッラミプール

国際日本文化研究センター特任助教。比較文学・比較文化、美術史。著書『「東洋」の変貌——近代日本の美術史像とペルシア』(名古屋大学出版会、2025年)。

2026年11月28日(土)14:00～16:00 ごろ

会場:箕面市立船場図書館3階 るくす (13:30 開場)

定員:先着40名

こんなことに興味のある方におすすめします！

- ・イランの文化、暮らし
- ・ペルシア語について
- ・日本・イランの文化交流

参加
無料

申込:10月29日(木)12:00～11月25日(水)

※船場図書館のカウンター、電話、ウェブサイト(右のQRコード)で受け付けます。



箕面市立船場図書館へのアクセス



箕面市立船場図書館
Webサイト

562-0035 大阪府箕面市船場東3-10-1

- 北大阪急行 箕面船場阪大前駅から徒歩3分
- 阪急バス 新船場南橋バス停から徒歩7分
船場団地バス停から徒歩3分
- できるだけ公共交通機関でお越しください。

(有料駐車場として、図書館が入っている複合公共施設の地下1階に箕面船場駐車場がありますが、満車の場合があります)

※開催についての最新情報は 図書館Webサイト(上記QRコード)で案内しますので、ご確認ください。

※障がい等で何らかの配慮が必要な方は、お申込みの際にご相談ください。